

浜松市議会議員

田口 章 後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053 - 447 - 3820
夜 053 - 440 - 7100

平成 20 年 2 月

創ろう！元気な浜松

市債 225 億円 繰り上げ償還へ(？)

財務体質の強化は不可欠。2月議会で議論へ

1 月末の新聞報道に標記の見出しが躍っていました。
みなさんをご覧になりましたか？

議会にはまだ正式な提案はないので、真偽の程はわかりませんが、おそらく2月20日に始まる2月議会に「今年度補正予算案」「平成20年度予算案」などのカタチで提案があるのだらうと思います。記事には市長のコメントもついていましたので、具体性は高いのかな…と考えます。

私も9月議会で「行財政改革の一環として、金利の高い借金を早く返済すべきだ」と質問させていただきましたので、早速の対応を評価したいと思います。

新聞報道によると…、「2007年度(今年度)からの3年間で、国からの借金225億円を繰り上げ返済する方針を固めた」「年利5%以上の市債を対象に97億円を完済

し、残りを低利率のものに借り換え」「46億円の利子負担を削減」ということようです。

浜松の取り組みが目新しいものかということ、特別なものではありません。最近の新聞報道によると、同じ政令市の堺市でも12月議会で補正予算を組み、3年間で315億円を繰り上げ償還、約63億円の財政効果を見込んでいます。

財務体質の強化は、今、どの自治体も、最優先で取り組まねばならない課題なのです。

まず借金を減らして、今後、少子高齢化に対応した施策に積極的に投資していく…。「こども第一主義」を始めとする浜松市の今後の取り組みにぜひ注目いただきたいと思います。

9月議会での質問「今後の公債管理について」からの抜粋

【田口】平成18年度末の総会計公債残高は5632億円と、17年度末の5717億円からは改善したが、まだ市民一人当たり約70万円の借金があり、この低金利時代に7%を超える高金利の借金もある。行革や繰上償還などにより財務体質を強化すべきと考えるが市の公債管理の考え方を伺う。

【鈴木市長】浜松市は市の全ての会計を総括的に管理し、全国に先駆けて、連結ベースの健全化を取り入れている。災害復旧費など、計画策定時に見込めなかった市債の増加もあるが、不断の行財政改革による市債の抑制、及び、高金利債の繰上償還により、中期財政計画の目標達成時期の前倒しや、市債残高の削減を、できる限り図っていく。

市民クラブ・会派視察のご報告

私が所属する浜松市議会会派「市民クラブ」では、1月23日～25日にかけて島根県各所を視察しました。限られた紙面ですが、印象に残った取り組みを抜粋してご報告いたします。

日時および行先

1月23日(水)安来市(子育て支援センター)

1月24日(木)安来市(足立美術館)、大田市(産業企画課、石見銀山課)

1月25日(金)出雲市(ジョブ・ステーション出雲)

1. 子育て支援策(安来市)

(1) 市民の目線で仕事を見直す

- 「子ども未来課」の取り組み -

安来市(やすぎし)ではいくつかの課に分散していた子育て支援業務を、今年度から一元化し「子ども未来課」を設置しました。従来の組織は、国や県に対応する窓口としては機能していましたが、職員からの提案により、市民サービスの視点から見直したということです。

取り組んだことは、「行政の固いイメージを変える」こと、「タテ割りの弊害をなくし相談体制を一元化する」こと、「市の子育て施策をトータルで把握したらいまわしにしない」こと、など10項目に及んでいます。

職員体制は13人。事務吏員が4人いますが、あとのメンバーは、保健師、保育師など専門知識を有しており、市民からの相談に速やかに対応できるようにしているとのことでした。

今後の課題として、障がい児支援など含めたさらなる一元化の推進や、周辺都市も含めた医療機関・療育機関との連携確保に取り組むとしています。

「学童保育の預かり時間」が施設ごとに違っていたので質問しましたが、「学童保育の運営は各運営委員会に任せてあり、時間や費用などについて市としてのガイドラインのようなものは持っていない」とのことでした。

浜松市民のみなさんからは、旧浜松市エリアの預かり時間の延長に関する要望をよくうかがいます。利用料金などは各運営母体(浜松では「育成会」と呼びます)が自主的に決めていることから、時間の弾力化についても「育成会」で議論すべきではないかと、あらためて感じたところです。

(2) 「こっころカード」

- 子育て応援施策について -

島根県では、18歳未満の子どもを持つ親と妊婦さんを対象に「しまね子育て応援パスポート事業」を行っています。「こっころカード」と名づけられたこの支援事業には、島根県のHPによると1570の店舗が協賛しているようです。

さて、みなさんは静岡県にも同種の制度「しずおか子育て優待カード」があるのをご存知でしょうか。18歳未満のお子様を持つみなさん、このカードのことを知っていましたか？



(静岡県 HP より転載)

恥ずかしながら私は、先月初めて知りました。女房に聞いたところ、「持っているけど使ったことがない。どこで使えるかわからない」との返事でした。

静岡県のHPによると4277店が協賛しています。静岡県内の多くの市町では、市役所など(区役所、地域自治センター含)の窓口で配布しています。

また、浜松市では、子どもが通う学校・幼稚園・保育園経由でも配布しており、他市よりも積極的に配布支援を行っています。

県の事業ではありますが、せっきくの制度ですので、利用促進につながるようにしっかりとチェックをしなければいけませんね。HP や冊子を使った PR は島根県の方が進んでいるように感じました。

子育て世代のみなさんは、ぜひ、静岡県の HP (<http://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/ki-240/>) をご覧いただきたいと思います。

飲食店や商店の他、金融機関など、いろいろなお店で優待制度が受けられますよ。

「協働会議」は市民170人行政関係者30人の約200人でスタート。平成18年に「石見銀山行動計画」を策定し、「保存管理」「情報発信」「調査研究」「受入」「活用」の5つの分野で、それぞれ「草刈などの美化保全」「地元での学習機会の提供」「調査への協力」「ガイド体制の充実」「伝統文化の振興・空家活用」などを市民やボランティア団体の協力を得ながら進めています。

今後、さらに一歩進めて「石見銀山ブランド」として、遺跡や自然、文化などの共生を図っていくとしていますが、とりわけ「ヒト」の育成に力を入れています。「地域づくりはヒトづくりから」ということですね。

浜松市も新たにできた区ごとにまちづくりを進めています。これからのまちづくりは行政や事業体に任せるだけでなく、市民の力を活かすことが不可欠です。市長も「市民協働」をキーワードにしていますが、大田市の「協働会議」のような「市民協働」がまわっていく仕組みづくりが必要です。

2. 「石見銀山協働会議」(大田市)

- 「世界遺産」を活かした、市民協働によるまちづくり -

大田市(おおだし)にある「石見銀山」は昨年、日本で14番目の世界遺産として登録されました。

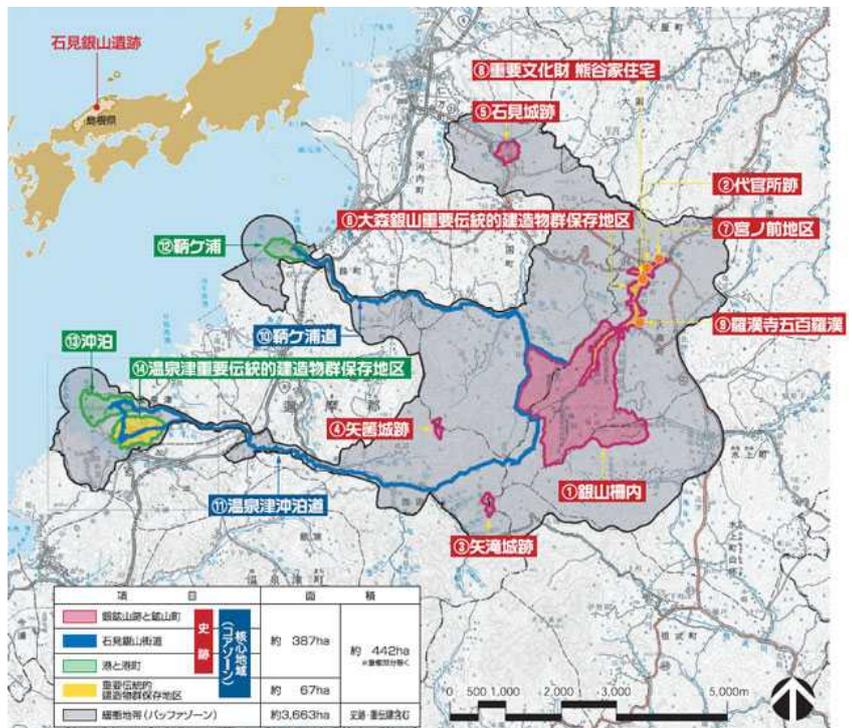
この世界遺産の整備の中心になっているのが平成17年に設立された「石見銀山協働会議」です。

世界遺産登録により、石見銀山の観光資源としての価値は高まりましたが、世界遺産のそもそもの目的は「観光」ではなく、「遺跡を未来に引き継いでいくこと」にあります。

その視点を見失わずに遺跡保全を行いながら、まちづくりにも資していこうというのがこの取り組みで、そのために市民協働により地域主体で進めていこうというものです。

石見銀山遺跡の概要
(島根県教育委員会 HP より転載)

余談ですが、残念ながら「石見銀山」のメイン地区である、「銀山地区」「間歩(坑道)」を見る時間はありませんでした。昔の町並みを残す「町並み地区」を30分ほど散策しましたが、なかなかイイ雰囲気田舎町でしたよ。



最近のブログから…1/17「立志式」



今日、入野中学校で「立志式」が行われました。対象は2年生。武家社会で15歳になったとき行われていた「元服」に変わったものです。

式で配られた資料に吉田松蔭の言がありましたので引用します。

「道(みち)の精(せい)なると精ならざると、業(ぎょう)の成ると成らざるとは、志(こころざし)の立つと立たざるとに在(あ)るのみ。故(ゆえ)に士たる者は其(そ)の志を立てざるべからず。夫(そ)れ志の在る所、気も亦(また)従ふ。志気(しき)の在る所、遠くして至るべからざるなく、難(かた)くして為(な)すべからざるものなし」

(田口意識)一生懸命やるかやらないか、仕事(目標)ができるかできないかは、「志」を持っているかどうかだけだ。だから「志」を立てないといけない。「志」があれば、やる気も充実し、遠い目標も難しい目標も可能になるのだ。

式では12人の生徒が決意表明を行いました。すでに将来やりたいことが明確な生徒もいます。まだこれからという生徒もいます。ただ、みんなこの日に向けて、自分自身を一生懸命見つめてきたのはよくわかりました。

今日、友だちの志を聞いて、あらためて自分を振り返った生徒もいるでしょう。この子たちの可能性はどんどん広がっている…、そんなことも感じました。また、体育館の壁には、生徒全員が書いた「立志の決意」が貼り出しており、「努力」「夢」「前進」…こんな言葉が多く見られました。

なかなか良い行事ですね。「学力をつける」と同時に「心を豊かに育む」ことの大切さを痛感した1日でした。

【編集後記】

1年数ヵ月ぶりに人間ドックに行ってきました。検査の結果は概ね良好。少しダイエットが必要ですが、今月も元気一杯動き回ります。

いよいよ2月議会が始まります。平成20年度予算審議が主なテーマになりますが、やすともマニフェストの実現、さらなる行財政改革の推進を図っていきます。引き続きのアドバイスをよろしく願いいたします。(章)

1月の主な活動

- 01(火) さなるサッカー初蹴り
- 04(金) 入野地区出初式
- 05(土) 浜松市出初式
33分団表彰式
- 06(日) 入野保育園30周年式典
- 08(火) 賀詞交歓会
入野地区自治会長会議
- 09(水) 連合静岡議員団会議
- 10(木) 活動報告(本所老人クラブ)
- 13(日) 入野地区成人式
- 16(水) 地方行革シンポジウム
- 17(木) 入野中学校立志式
活動報告(スズキ磐田)
- 18(金) 新人議員研修会
- 23(水) 市民クラブ視察(島根県)
~25(金)
- 27(日) 入野公民館まつり
- 28(月) 活動報告(西鴨江老人クラブ)
- 30(水) 自動車総連ミーティング
- 31(木) はままつメッセ2008

2月の主な予定

- 01(金) 入野小学校(入っ子まつり)
スズキ労連中央委員会
- 03(日) 浜松西政経フォーラム総会
- 06(水) ムト・テ・アグリ学校5周年式典
- 07(木) 環境経済委員会
- 08(金) 入野地区自治会長会議
- 09(土) 大平台小学校発表会
スズキ労組研修会
- 10(日) スズキ労組中央委員会
- 11(月) 行革審傍聴
建国記念の日奉祝式典
- 12(火) 都市計画審議会
- 13(水) 市議会全員協議会
- 14(木) 活動報告(田端老人クラブ)
- 15(金) 新人議員研修会
健全育成会常任委員会
- 16(土) スズキ販労中央委員会
- 17(日) 西区まつり
- 20(水) 本会議
- 21(木) 環境経済委員会
連合浜松ミーティング
- 27(水) 本会議
- 28(木) 本会議

